

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和5年12月13日(2023.12.13)

【国際公開番号】WO2022/196135
 【出願番号】特願2023-506833(P2023-506833)
 【国際特許分類】
 H04S 7/00(2006.01)
 【FI】
 H04S 7/00 340

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年9月4日(2023.9.4)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

音信号と音源が発する音に関わる第1情報を取得し、
 前記第1情報に基づいて、前記音信号に施されるフィルタを設定する
 情報処理方法。

【請求項2】

前記音信号に関わる情報は、音の種別を示す種別情報を含み、
 前記種別情報に基づいて、前記音信号に施されるフィルタを設定する
 請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記フィルタを適用することで、出力する音の振幅値及び位相を算出する
 請求項1または2に記載の情報処理方法。

30

【請求項4】

前記フィルタは立体音響処理に用いられる
 請求項1～3のいずれか1項に記載の情報処理方法。

【請求項5】

前記第1情報は前記音源の第1位置を含み、
 前記情報処理方法は、さらに、
 ユーザの第2位置を取得し、
 前記第1位置と前記第2位置との位置関係に応じて、前記音信号に施される前記フィル
 タを設定する

請求項1～4のいずれか1項に記載の情報処理方法。

40

【請求項6】

前記第1位置と前記第2位置とに基づいて、前記第2位置に到来する複数の音を算出し、
 前記第2位置に到来する前記複数の音それぞれの到来角度を算出し、
 前記到来角度に基づいて、それぞれの音に適用するフィルタを設定する
 請求項5に記載の情報処理方法。

【請求項7】

前記複数の音は、音源からユーザに到来する直接音及び反射音を含む
 請求項6に記載の情報処理方法。

【請求項8】

前記フィルタの設定では、

50

前記ユーザの頭部と前記音源との距離が大きいほど、同じ前記フィルタを適用する音が多くなるように設定する

請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 9】

前記種別情報は、前記音信号が示す前記音が人間の音声であるか否かを示す情報をさらに含み、

前記設定では、

前記音信号が示す前記音が人間の音声であることが前記種別情報に示されている場合に、前記音信号が示す前記音が人間の音声であることが前記種別情報に示されていない場合と比較して、同じ前記フィルタを適用する音が少なくなるように設定する

10

請求項 2 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

前記第 1 情報は複数の音源についての情報を含み、

前記フィルタの設定では、

前記音源の個数が多いほど、同じ前記フィルタを適用する音が多くなるように設定する

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 11】

プロセッサとメモリとを備える情報処理装置であって、

前記プロセッサが前記メモリを用いて、

音信号と音源が発する音に関わる第 1 情報を取得し、

20

前記第 1 情報に基づいて、前記音信号に施されるフィルタを設定する

情報処理装置。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法をコンピュータに実行させるプログラム。

30

40

50